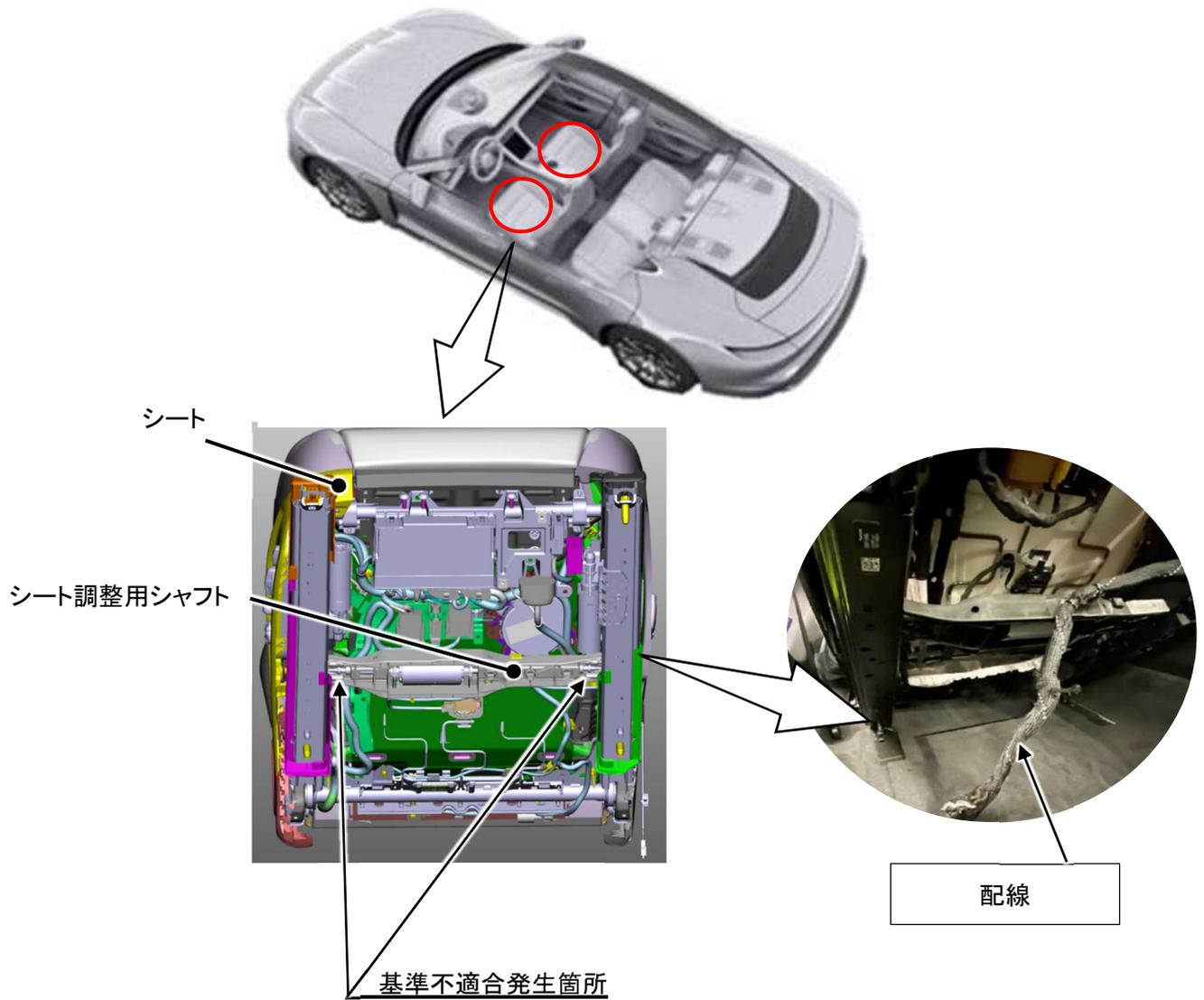


改善箇所説明図



運転席、助手席シートのエアバッグ(SRS)の配線において、配線被覆の加工が不適切なため、配線被覆の繊維がシート調整時にシート調整用シャフトに巻き込まれるおそれがある。そのため、シートの調整ができず、配線が損傷し、エアバッグの警告灯が点灯する場合がある。最悪の場合、エアバッグ(SRS)が作動しないおそれがある。

改善措置の内容

全車両、シートの配線、シート調整用シャフトを点検し、シート調整用シャフトに繊維の巻き込みがあるものは取り除き、シートの配線に布テープを巻き付ける。配線に損傷があるものは補修する。

識別： 改善済車両には車台番号打刻 5 桁目の下に黄色ペイントを塗布する。

注： □内は補修する部品を示す